

2026年7月1日

報道関係各位

MEC-U Tokyo Lab
三菱地所株式会社

～知が躍動するまちへ～

「東大 Week@Marunouchi」を開催

開催期間：2026年7月28日（火）・7月29日（水）

開催場所：3×3Lab Future、DMO Tokyo Marunouchi、Inspired.Lab

国立大学法人東京大学（東京都文京区、総長：藤井 輝夫、以下 東京大学）と三菱地所株式会社（東京都千代田区、執行役社長：中島 篤、以下 三菱地所）は2022年10月21日に産学協創協定を締結し、「MEC-U Tokyo Lab（以下 当ラボ）」を立ち上げました。この度当ラボでは、丸の内エリア各所でドリンクを片手に、東京大学の最先端の知に触れられるトークイベント「東大 Week@Marunouchi」を下記の通り開催します。本イベントは2022年に開始し5回目の開催となります。

【開催概要】

開催日時：2026年7月28日（火）～7月29日（水）

<個別日程>

7月28日（火）18:30～20:30

7月29日（水）18:30～20:30

※開催場所・詳細時間帯は日時により異なります。

主催：MEC-U Tokyo Lab

内容：東京大学の教員がキャンパスを飛び出し、丸の内エリア各所で講演を行います。
東京大学の有する最先端の知に触れ、新たなアイデアに繋がる刺激を得られるイベントです。

イベント対： <https://todaiweek-marunouchi.jp/>

応募方法：上記サイト内 Peatix より事前申し込み。

※先着順で各日程の前日 12:00 までの受付となります。



イベント詳細

■7/28(火) 基調講演・クロストーク ※20:00～20:30 ネットワーキング (懇親会)

開催場所：大手門タワー・ENEOSビル1階 「3×3 Lab Future」

18:30～19:00

基調講演※1

『変わり続ける神田、受け継がれる神田：歴史資産とまちの記憶』



スピーカー：松田陽 (東京大学大学院 人文社会系研究科 准教授)

神田は、大学、専門学校、予備校、病院、出版社、古書店街、楽器店など、多様な文化が集積するまちとして発展してきた。その魅力は、祭りや地名、老舗ビジネス、路地や界限文化など、長い時間をかけて育まれてきた都市の記憶の重なりの中にある。本講演では、神田がどのような歴史と文化を育んできたのかを読み解く。150年前に東京大学が生まれた地であることにも着目し、そのことが今日の神田にいかなる意味を持つのかについても考えたい。

19:00～20:00 クロストーク

『神田の未来を語ろう——歴史・アート・居場所のあるまちへ』

ファシリテーター：松田陽 (東京大学大学院 人文社会系研究科 准教授)

パネリスト：横張真 (東京大学 総括プロジェクト機構 特任教授)

伊藤達矢 (東京藝術大学 社会連携センター長／教授)

神田には、古書店街や大学、老舗の飲食店、祭り、路地や坂道など、長い時間をかけて育まれてきた独自の文化が息づいている。一方で、新しいビジネスや地域活動、人々の交流も加わり、まちは今も変化を続けている。本クロストークでは、歴史や文化資産、アート、まちづくり、都市計画という異なる視点から、神田の魅力と未来について語り合う。変わりゆく都市の中で、人々が集い、学び、表現し、居場所を見つけられるまちとはどのようなものか。歴史を未来への資源として活かしながら、これからの神田の可能性を考える。



▲松田陽准教授



▲横張真特任教授



▲伊藤達矢教授

※1 本セッションは「東京大学 150 周年関連イベント」の一環として開催されるものです。

■7/29(水) 東京大学教員陣によるプレゼン ※20:00～20:30 ネットワーキング (懇親会)

開催場所：大手門タワー・ENEOSビル1階「3×3 Lab Future」

会場テーマ【見えない世界を読み解く～匂いの価値と深海探査～】

18:30～19:10

① 『匂いの価値とその可能性』

登壇者：竹内春樹
(東京大学大学院 理学系研究科生物科学専攻 教授)

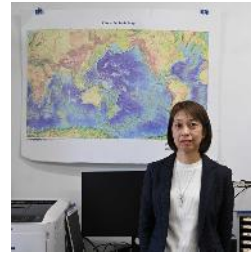


▲竹内春樹教授

19:20～20:00

② 『地図のないところに行きたい
—深海を探索する』

登壇者：沖野郷子
(東京大学 大気海洋研究所 教授)



▲沖野郷子教授

開催場所：丸の内二重橋ビル6階「DMO Tokyo Marunouchi」

会場テーマ【「ヒトの進化」と「国際秩序」から読み解く人間社会の起源とあり方】

18:30～19:10

① 『サルからヒトへ進化した道筋の話：
人間らしさの霊長類の起源』

登壇者：香田啓貴
(東京大学大学院 総合文化研究科 准教授)

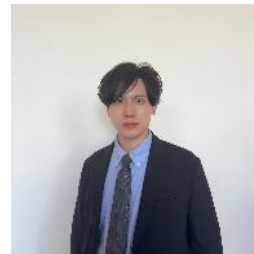


▲香田啓貴准教授

19:20～20:00

② 『トランプ時代の国際秩序と
日本の戦略的選択』

登壇者：川井大介
(東京大学先端科学技術研究センター 特任助教)



▲川井大介特任助教

開催場所：大手町ビル6階「Inspired.Lab」

会場テーマ【食とデザインから考える未来のかたち】

18:30～19:10

① 『サーモンになった魚たち：
デザインされる生命が問う食の倫理』

登壇者：福永真弓
(東京大学大学院 新領域創成科学研究科 教授)



▲福永真弓教授

19:20～20:00

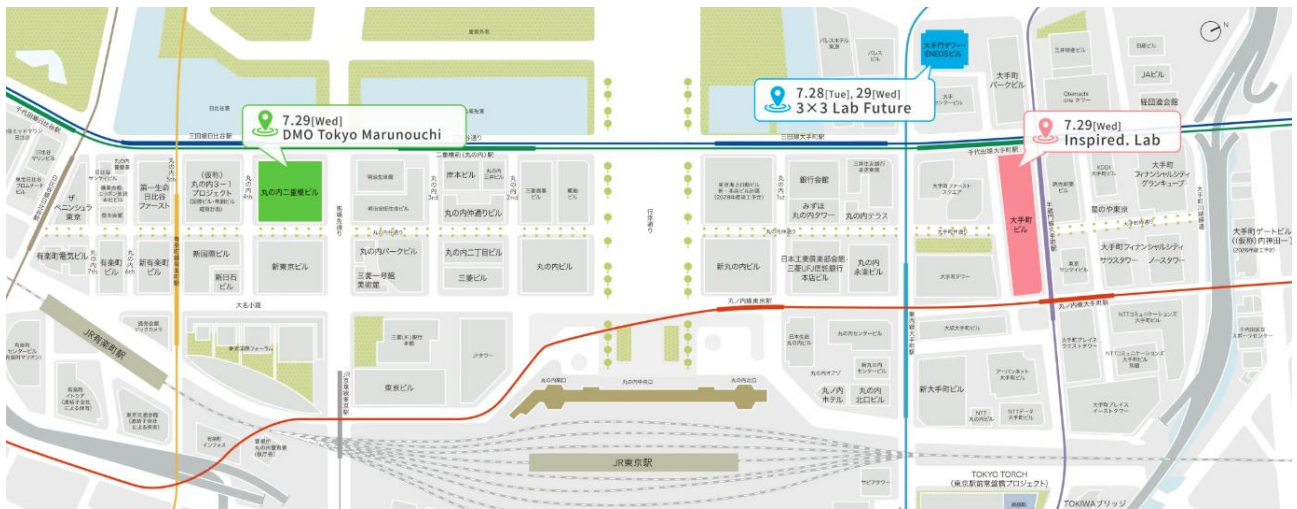
② 『未来を描く』

登壇者：山中俊治
(デザインエンジニア/東京大学特別教授)



▲山中俊治特別教授

丸の内 MAP







▲広域図

※着色されたビル：イベント開催場所

【参考】MEC-U Tokyo Lab について

MEC-U Tokyo Lab は、東京大学と三菱地所による協創プロジェクトです。東京大学の主要拠点であり卓越した知が集積する本郷から、三菱地所が 135 年にわたりまちづくりを推進する大手町・丸の内・有楽町までのエリア（以下、「本丸エリア」）に集積する企業等と東京大学との協業を通じて、次世代のまちづくりのあるべき姿の探求や、新たな産業の創出、社会課題解決の取り組みを推進することで、イノベーションが創出され、成長するまちへの進化を目指します。

本丸 イノベーション オーバル

 <p>ポストコロナを見据えた 次世代まちづくりの研究と実践</p>	 <p>スタートアップの成長を加速する エコシステムの形成</p>
 <p>未来を創る 人材育成</p>	 <p>スマートシティの 深化</p>

本郷から丸の内エリアを『本丸エリア』と位置づけ
ハードソフト両面でのイノベーションを加速し、
国内外の人企業とつながるエコシステムを形成します。



※MEC-U Tokyo Lab ホームページ <https://mect-lab.ducr.u-tokyo.ac.jp/>

【参考】まちまるごとワークプレイス構想の考え方

<丸の内“まちまるごとワークプレイス”構想>

丸の内エリアの特性の一つは、135年以上にわたるまちづくりを通じてお客様や様々なステークホルダーと共に築き上げてきた「利便性と集積」です。その特性を踏まえ、テナント企業が自社オフィスだけでは実現できないことや、個社単独の取り組みでは実現しにくいことを「まちまるごと」でサポート、エリア全体がプラットフォームとして機能することで、働き方の質や効率を高めます。



▲まちまるごとワークプレイスのイメージ

始動リリース：https://www.mec.co.jp/news/detail/2025/05/22_mec2500522_machi

【参考】丸の内エリアの夏の取り組み「MARUNOUCHI SUMMER FEST」について

三菱地所が推進する「まちまるごとワークプレイス構想」を体現する取り組みの一環として、丸の内エリア全体を活用した夏の施策「MARUNOUCHI SUMMER FEST」を実施します。夏季においては、これまでも「東大 Week@Marunouchi」をはじめ、様々な企画を展開してきましたが、本年よりこれらの取り組みを拡張し、“まちまるごと”で展開・発信することで、丸の内における新たな「夏の風物詩」となることを企図しております。

公式サイト：<https://www.marunouchi.com/lp/marunouchisummerfest2026/>

～働くまちは、楽しむまちへ～

MARUNOUCHI SUMMER FEST

多様な働き方が広がり、ビジネスエリアは「働く場所」だけでなく、生活の質を高める複合的な役割が求められるようになっていきます。丸の内エリアでは、企業・店舗・公共空間・人々のつながりを活かし、まち全体の魅力向上やまちで働く就業者の満足度・QOLの向上に資する取り組みを進めています。

就業者やそのご家族がこのまちで過ごす時間の楽しさや豊かさを実感いただくとともに、丸の内エリアへの愛着をより深めることで、持続的なまちの価値向上につなげてまいります。



以上